

カラー図表 ※ここでは、モノクロでは表現しにくい図表をカラー掲載しています。

### 南湖生態系の順応的管理に関する研究

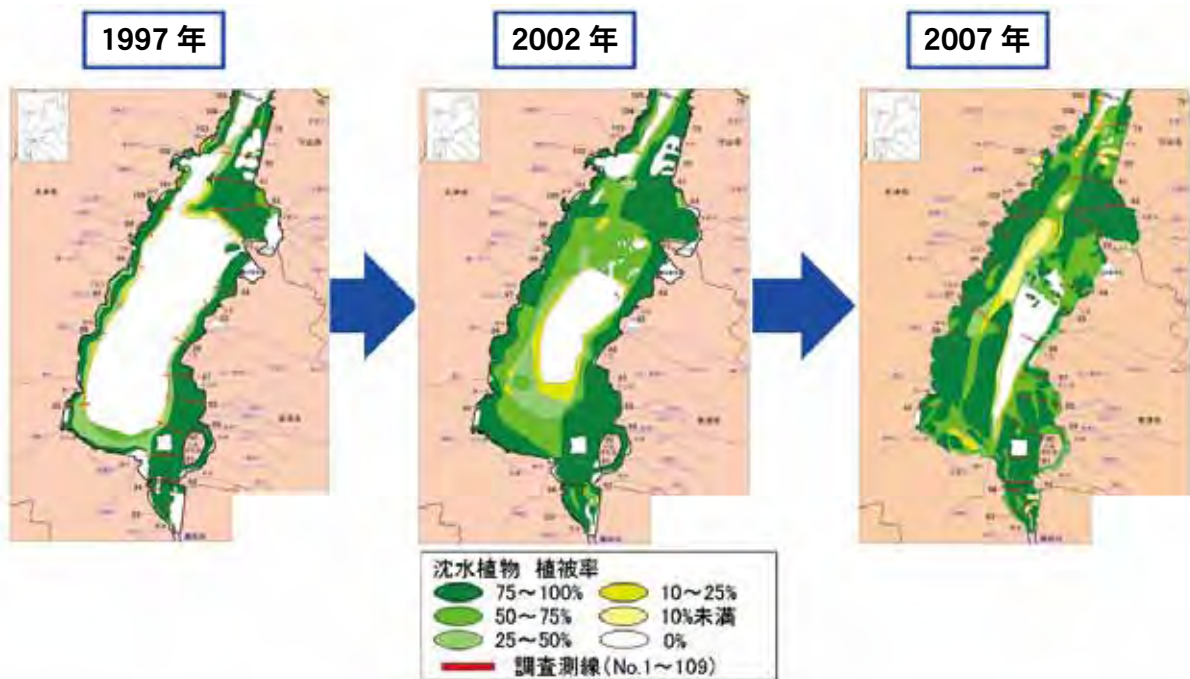


図1 南湖における水草繁茂状況の変遷(水資源機構 琵琶湖開発総合管理所ホームページより: 本文 16 ページ)

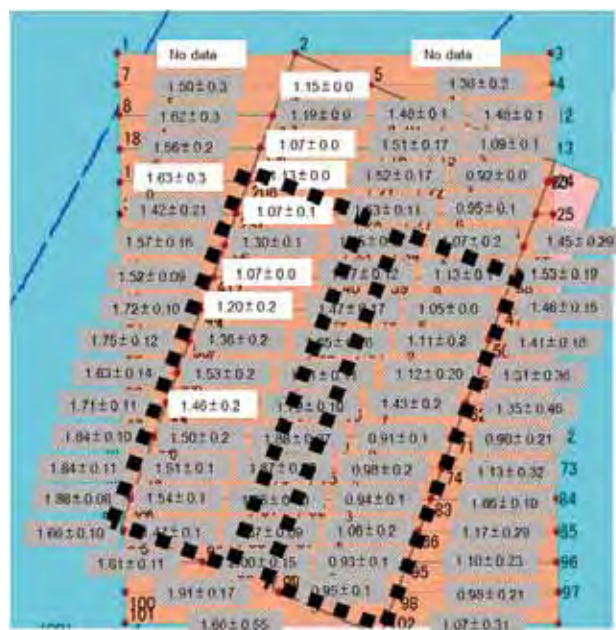


図6 2011年6月除去後の水草群落高(m) (本文 19 ページ)

平均±標準偏差 点線枠: 水草の除去を実施した区画  
 除去前と比較して、除去後の方が高い区画を灰色で、  
 除去後の方が低いか両者に差がない区画を白色で示した。

## 北湖深水層と湖底環境の把握

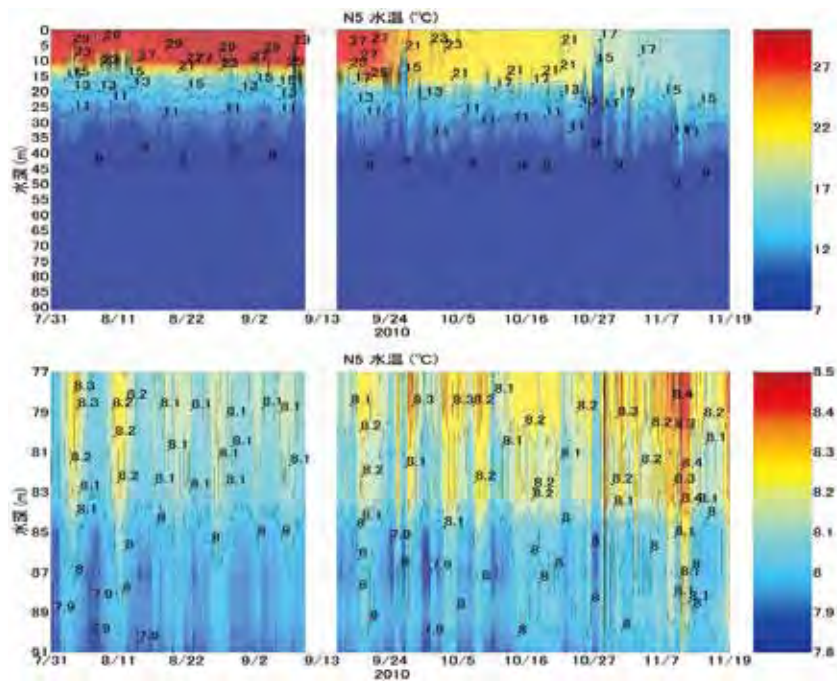


図3 N5における水温等値線図(本文28ページ)

2010年7月～11月：上側は水深0mから91mまでの水温分布、下側は水深77mから91mまでの水温分布

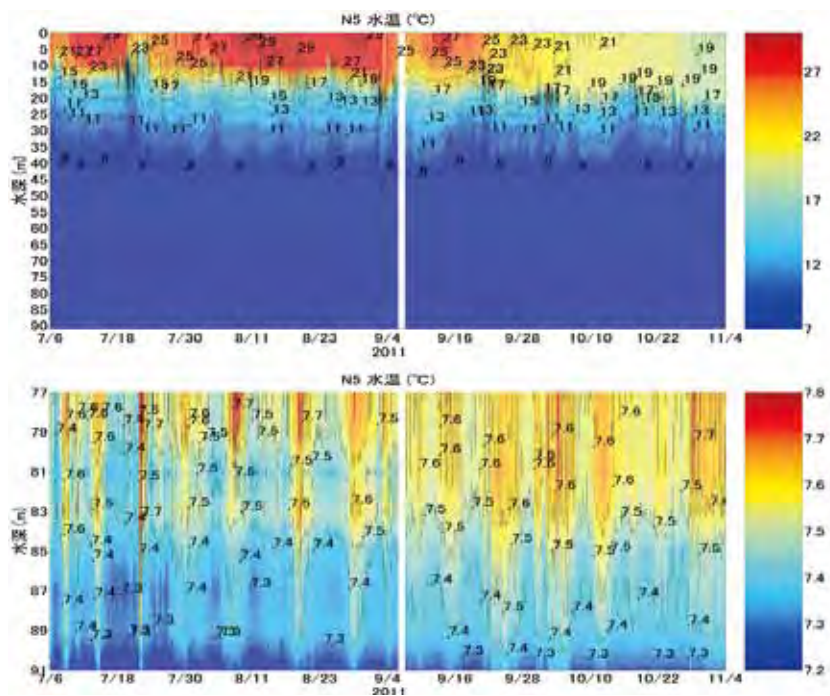


図4 N5における水温等値線図(本文28ページ)

2011年7月～11月：上側は水深0mから91mまでの水温分布、下側は水深77mから91mまでの水温分布

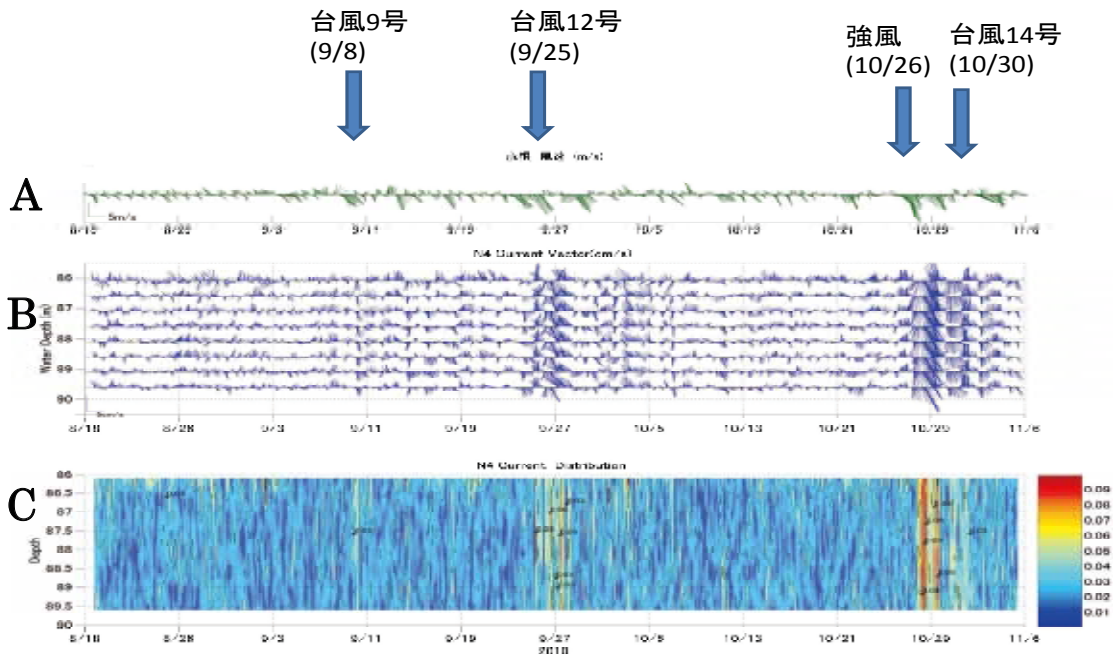


図5 N4におけるADCP流速計で測定した流れの図(本文29ページ)

2010年8月～11月: Aは風のベクトルの図、Bは水深85m～90mの流れのベクトルの図、  
Cは水深85m～90mの流速の絶対値の等値線の図 ※矢印は台風到来日を表す

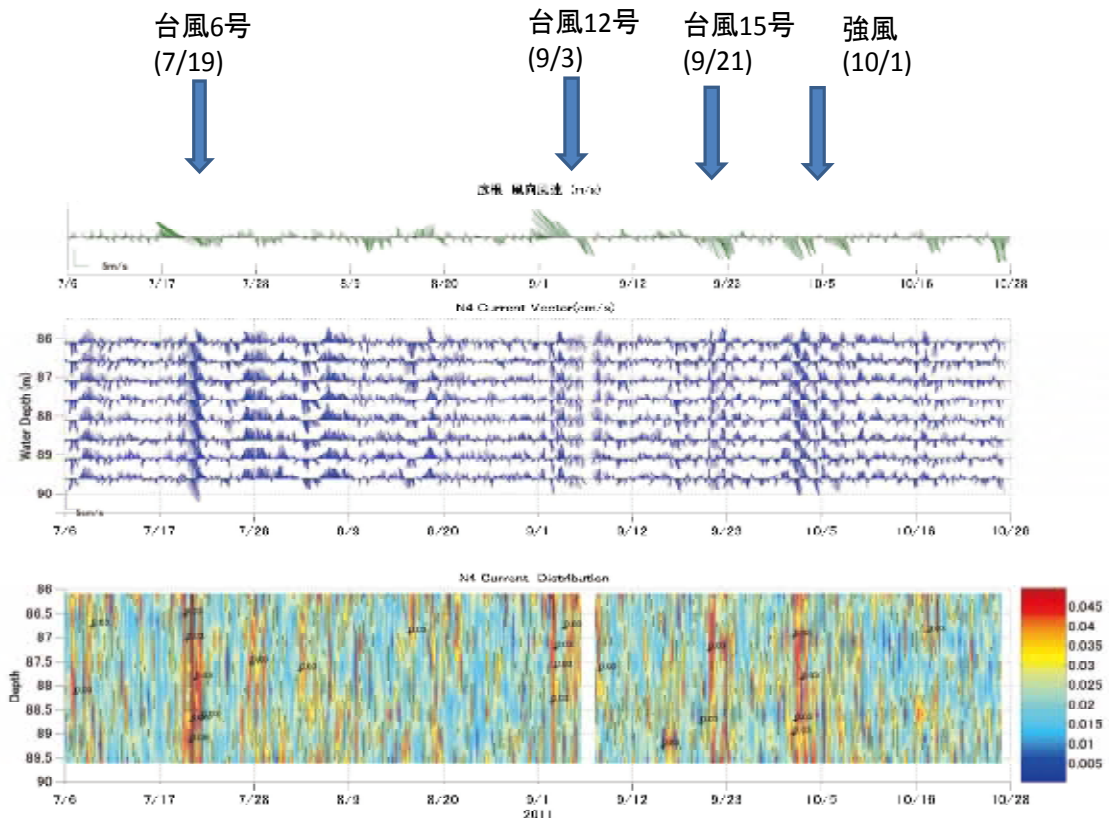


図6 N4におけるADCP流速計で測定した流れの図(本文29ページ)

2011年7月～10月: Aは風のベクトルの図、Bは水深85m～90mの流れのベクトルの図、  
Cは水深85m～90mの流速の絶対値の等値線の図 ※矢印は台風到来日を表す



## 琵琶湖等湖沼環境のモニタリング

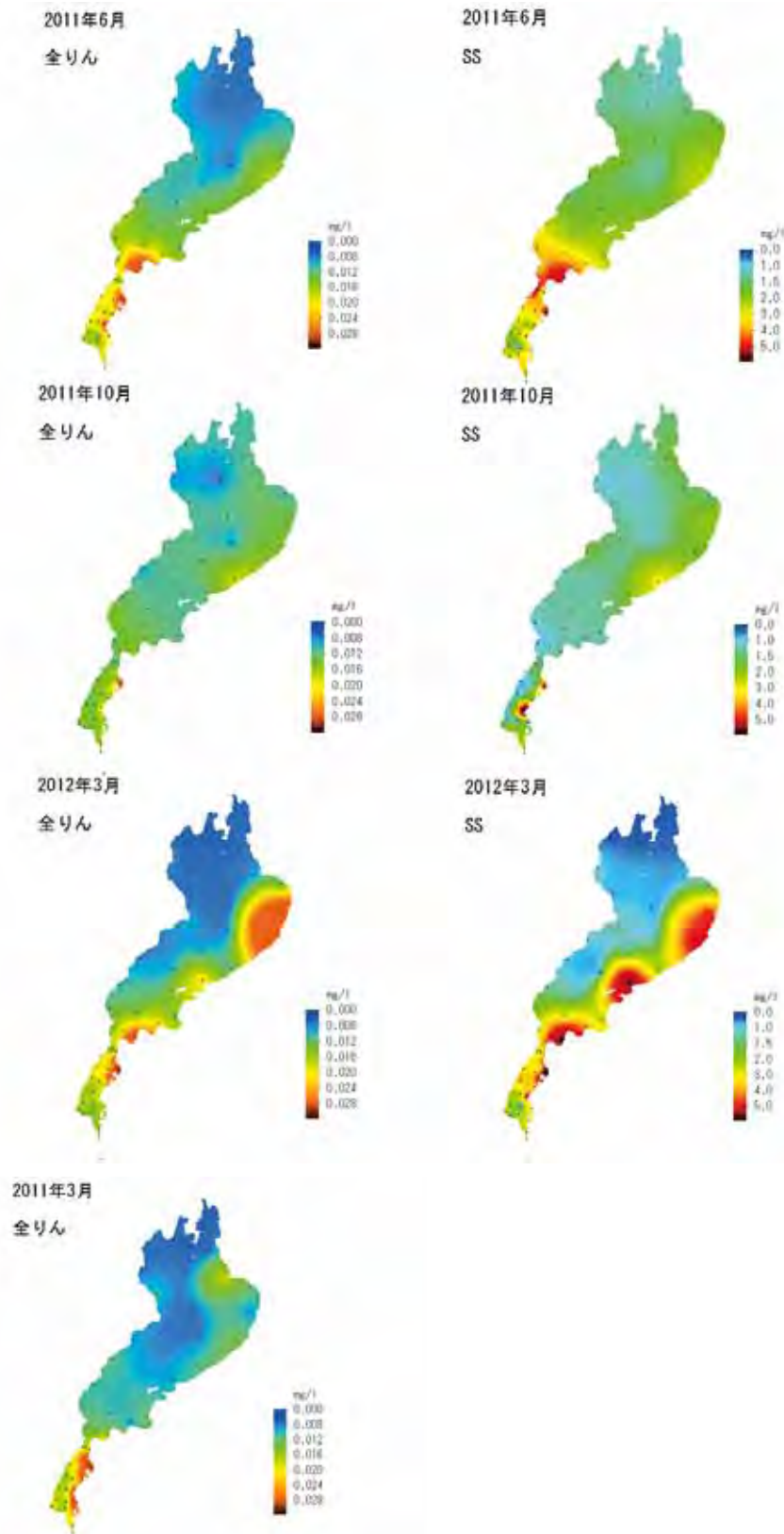


図 12 全りん、SS 平面分布 (2011年3月(全りんのみ)・6月・10月、2012年3月: 本文 39 ページ)

データ: 琵琶湖河川事務所、水資源機構、  
琵琶湖環境科学研究センター

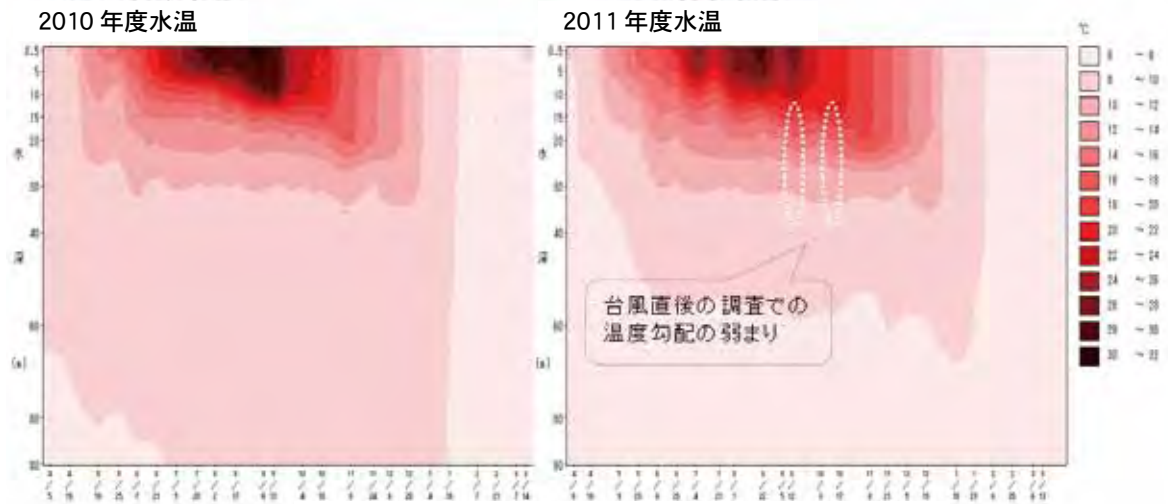


図 14 水温分布（北湖・2010、2011年：本文 40 ページ）

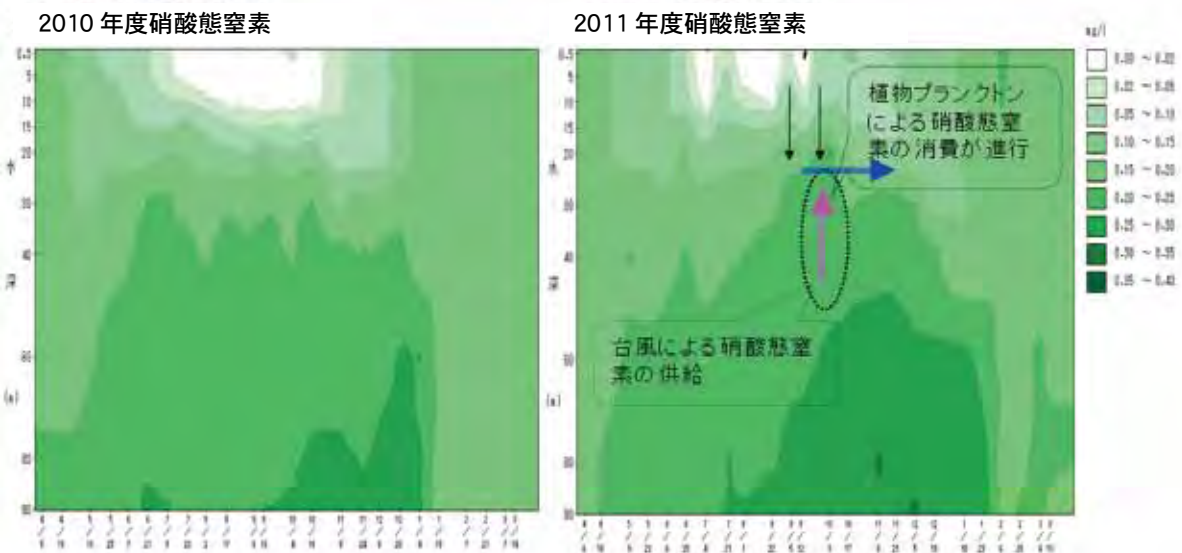


図 15 硝酸態窒素鉛直分布（北湖・2010、2011年：本文 41 ページ）

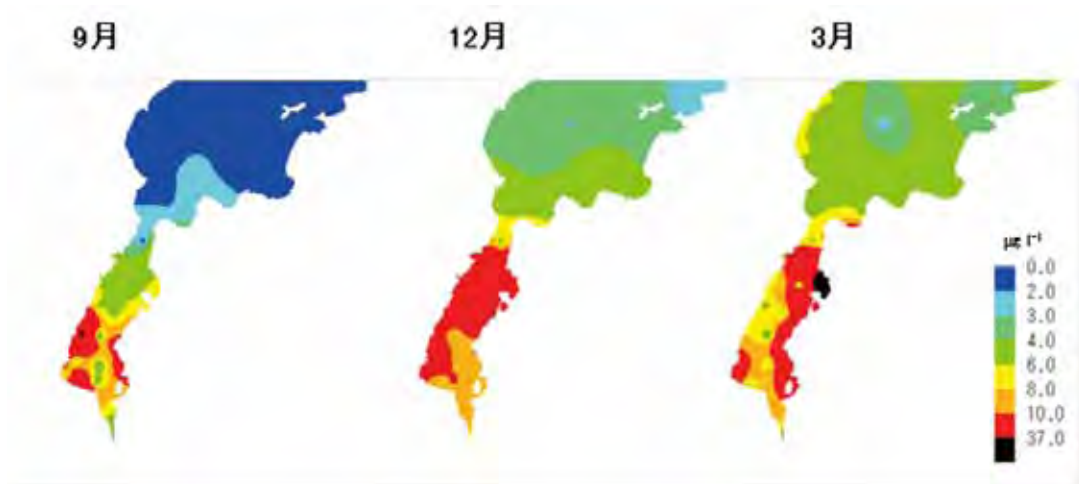


図 20 クロロフィルa平面分布（2010年度9月・12月・3月：本文 42 ページ）

データ：琵琶湖河川事務所、水資源機構、琵琶湖環境科学研究センター

## 生物環境のモニタリング



図2 アオコ判定指標  
((国立環境研究所、1995)より編集:本文45ページ)

滋賀県では○レベル2～3をアオコの兆候とし、  
○レベル4以上で1m×5mの以上の規模のものをアオコ発生としている。



写真1 南湖におけるアオコ発生現場(2011～2012年度:本文45ページ)